

さんぽみち

2011年 夏号

Vol.23

発行・医療法人社団 松弘会 三愛病院



『小江戸の花火』三愛フォトクラブ 小林久雄

～H23年小江戸夏祭り～

7月23日(土) <昼の部>14:00～17:00
<夜の部>18:50～20:00

*約600発のスターマインを敷地内で打ち上げます

ご挨拶

私は、昨年12月より当院の泌尿器科に勤務させていただいております。

当院の理念は、病院名にあるように3つの愛を掲げております。患者さんへの愛と思いやりの心、地域を愛する心、医療に奉仕する心を持ち、医療現場で実践していくことです。泌尿器科の疾患は、尿路生殖器を扱っており、腎、尿管、膀胱、前立腺、尿道、男性性器の疾患を担当しております。健診にて尿潜血、前立腺癌健診にて腫瘍マーカーPSAの異常を指摘され受診していただいたり、血尿が出現したり、尿が出にくい、尿の回数が多くて困る、トイレに行くまでに尿が漏れてしまうといった尿に関する問題など、様々な理由で患者さんは当科を受診すると思います。そのような患者さんに対して、泌尿器科医としては今まで培ってきた経験を生かし、日本泌尿器科学会より認定の専門医、指導医として医療に取り組んでいきたいと思っております。

最近では、多数の中高齢男子が下部尿路症状(尿の我慢に関する症状や、排尿に関する症状のこと)を有しています。本邦では、60歳以上の男子78%が何らかの下部尿路症状を訴え、その頻度は、トイレに頻回行くとのことが高くて、尿の勢いが弱い、残尿感、急にトイレ

に行きたくなる、急な尿意がある時尿が漏れてしまうことがある、といった頻度順でした。これらの原因は多様であり、前立腺、膀胱、神経系、その他の全身的な疾患・病態が関与しています。頻度の高い原因として、前立腺肥大症、過活動膀胱、低活動膀胱、脳血管系障害、多尿などが挙げられます。ただし多数の原因が関与している場合や、原因が同定できない場合も少なくありません。診断には自覚症状、生活状態などの感じ方といった主観的な側面の評価と、尿路機能に関する検査による客観的な評価が必要です。もちろん感染症や悪性腫瘍なども十分注意する必要があります。上記を踏まえた上で適切な治療を行っていききたいと思います。

当科的な疾患だけでなく、色々な科にまたがる患者さんがいるのが現実です。当院では専門性の高い医療を持つ他科の先生方とも連携を取り、患者さんに安心して医療を受けられるようにしています。

泌尿器科医として専門性を生かしつつ、かつ、全身の状態にも目を向けた医療を心がけ、三愛精神に基づき地域医療に貢献したいと考えております。今後ともどうぞよろしくお祈りいたします。

医療法人社団 松弘会 三愛病院

泌尿器科 おかの よしのり
岡野 由典



お気軽にご相談ください 内線(3802)

病院の理念

- ・患者さんへの愛と思いやりの心
- ・地域を愛する心
- ・医療に奉仕する心

基本方針

- ・患者さんの全身管理を念頭におき早期発見・早期治療を行い、質の高い医療を実践します。
- ・救急病院として、24時間救急診療に応じる体制を維持できるよう努力致します。

患者さんの権利

当院はすべての患者さんには、以下の権利があるものと考えます。これらを尊重した医療を行うことをめざします。

1. 個人の尊厳
2. 平等・安全な医療を受ける権利
3. 知る権利
4. 自己決定権
5. プライバシーの権利
6. 代行者による権利

※詳しい内容に関しては、院内の掲示をご覧ください。



AHH (アーカンソーハートホスピタル) 研修

三愛病院は、昨年12月にHHPJ(Heart Hospital Partners of Japan)と提携し、共同で循環器プロジェクトをスタートさせました。そのプロジェクトの一つとして、AHH(アーカンソーハートホスピタル)への職員研修があります。

AHHは循環器分野において全米患者満足度トップ5の病院です。その臨床経験とチーム医療のノウハウを学ぶため、当院のスタッフ(医師、看護師、放射線技師、臨床工学技士など)がAHHを訪れ、実際の現場で研修を行っています。

第1回目の研修は3月27日から4月1日、第2回目の研修は5月22日から27日まで行われました。研修内容としては、病院見学(心不全外来・末梢外来、カテ室、オペ室、PACU(麻酔後ケアユニット)等)、業務見学および実習、カテ室実習、スタッフとの対談(教

育部門担当、看護師長等)などです。

参加した職員は、様々なことを学び、吸収し、業務に生かしています。今後も引き続きこの研修を継続し、よりよい病院となるよう努力して参ります。

今後、研修に参加した職員の感想をご紹介します。



実習風景(左上、右)、AHHスタッフと共に(左下)

駐車場移動のお知らせ

新外来棟建築予定のため、今後駐車場が移動になります。ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

詳細は後日、掲示にてお知らせいたします。



アーカンソーハートホスピタル正面入口

三愛病院

外科・整形外科・脳神経外科・内科・循環器内科・消化器内科・消化器外科・放射線科・形成外科・呼吸器外科・泌尿器科・麻酔科・歯科・リウマチ科・心臓血管外科・皮膚科・リハビリテーション科 ○一般病床:126床

〒338-0837 埼玉県さいたま市桜区田島4-35-17

TEL:048-866-1717 FAX:048-866-1865

URL: <http://www.sanai.or.jp>

E-mail: byoin@sanai.or.jp



三愛病院 実績

主な検査・手術件数 (H22年6月～H23年5月の実績)

- 救急搬送: 260名(月平均)
- 外来患者数: 288名(日平均)
- ※休日、夜間を除く
- 入院患者延べ数: 3,646名(月平均)
- 平均在院日数: 13.67日
- (H23年3月1日～H23年5月31日)
- 心臓カテーテル: 650例
- (内 心臓PTCA: 242例)
- OPTA(心臓以外のカテーテル治療): 70例
- 内訳 下肢PTA...52例
- 頸動脈PTA: 2例
- 腎PTA: 16例
- 手術総数: 1,495例
- ガンマナイフ治療: 521例
- 内視鏡検査(胃): 215例
- 経鼻内視鏡検査: 1,926例

広報部委員長 小林久雄
広報委員 宮崎純子 佐々木一成 山之口愛奈 嘉生佐和子
内山亜矢子 佐藤晴美 磯貝宏美 野澤誠 細野明子

併設 さいたまガンマナイフセンター

TEL:048-710-8100 FAX:048-710-8101

E-mail: sgkc@gamma.jp

認知症専門病院トワーム小江戸病院

精神科・内科 重度認知症デイケア(医療保険適用)

○認知床病床(5-6階):100床

○身体合併症病床(3-4階):100床

〒350-0848 埼玉県川越市下老袋490-9

TEL:049-222-8111 FAX:049-222-8128

介護老人保健施設トワーム指扇

入所:100床 通所リハビリテーション:30名

〒331-0074 埼玉県さいたま市西区宝来591

TEL:048-620-6660 FAX:048-620-6680

介護老人保健施設トワーム熊谷

入所:100床 通所リハビリテーション:40名

〒360-0017 埼玉県熊谷市小曾根337-1

TEL:048-599-3377 FAX:048-599-3378

特集 脳ドックを受けてみませんか？③

前回、脳疾患についての説明をいたしました。今回は、MRI検査についての説明をさせていただきます。

MRI検査とは？

MRI検査とは、磁気共鳴画像診断装置（MRI=Magnetic Resonance Imaging）のことです。MRI検査は強力な磁石でできた筒の中に入り、磁気を利用して身体の臓器や血管を撮像する検査です。体の水素原子核からの信号をとらえ、身体の断面を画像化して、病変をはっきりととることができます。様々な病巣を発見することができますが、特に脳、脊椎、四肢、腹部（肝臓）、子宮、卵巣、前立腺（骨盤内）、心臓などに生じた病変に関して優れた描出能が知られています。

テスラとは？

テスラとは、磁力の大きさをあらわす国際単位です。現在、臨床で使用されるMRIは、0.2～3.0テスラの磁力です。高磁場（1.5～3.0）のマシンほど質の高い画像を描出することができます。臨床上優れた特徴を考慮した場合は、1.5と3.0テスラです。松弘会（三愛病院・トワーム小江戸病院）では、2機の1.5テスラ、1機の3.0テスラのMRIを導入しております。（すべて世界最高機種）

検査について

検査を受ける時は、MRI機器のベッドに横になり、ヘッドフォンで音楽を聴きながら、検査を受けていただきます。所要時間は20分です。

検査を受けるにあたっての注意事項（MRI検査を受けることができない方）

1. 心臓ペースメーカーを埋め込んでいる方
2. 人工内耳、人工中耳の方
3. 血管へのステント挿入手術を8週間以内に受けられた方
4. チタン以外の動脈瘤クリップが入っている方
5. 妊娠3ヶ月以内の方
6. その他、体内に金属を入れている方（材質が確認できれば可能の場合もあります）

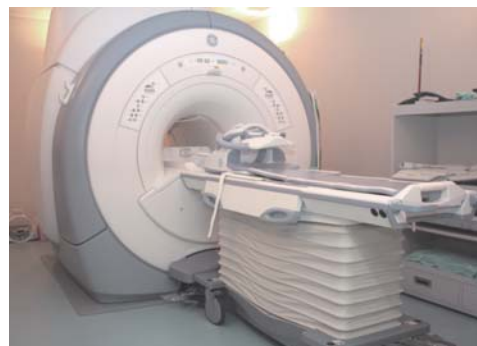
当院のMRI・特徴



Achieva 1.5T（2011年8月頃稼動）
特徴：撮像の高速化



Signa HDxt 1.5T
特徴：高分解能撮像



Signa HDxt 3.0T（トワーム小江戸）
特徴：非造影撮像

ちょっと一息

免疫を高める食事療法レシピ

ナスと大豆のドライカレー 減塩・肉なしとは思えないリッチな味わい

（材料：2人分）

- | | |
|-------------------|---------------------|
| ナス・・・・・・・・・・2本 | A 水・・・・・・・・・・1/2カップ |
| 玉ねぎ・・・・・・・・・・1/4個 | カレー粉・・・・・・・・大さじ1 |
| ニンニク・・・・・・・・・・1かけ | コンソメスープの素（顆粒）・・小さじ1 |
| オリーブ油・・・・・・・・大さじ1 | コショウ・・・・・・・・少々 |
| 赤とうがらし（輪切り）・・1本分 | 玄米ごはん・・・・・・・・300g |
| 大豆（水煮）・・・・・・・・80g | パセリ（みじん切り）・・少々 |

（作り方）

- 1 ナスはへたを取り、1cmの厚さのイチョウ切りにし、水に浸す。
- 2 玉ねぎとニンニクはみじん切りにする。
- 3 フライパンにオリーブ油と2のニンニク、赤トウガラシを入れて弱火にかけ、香りが出たら中火にし、水気を切った1と2の玉ねぎを炒める。
- 4 野菜がしんなりしたら、大豆とAを加え、水分がなくなるまで煮る。
- 5 器に玄米ごはんを盛り、4をのせる。好みにパセリを散らす。



部署紹介

●● 地域医療連携室

地域医療連携室は、現在5名で活動しています。地域医療連携室の主な仕事は地域の医療機関と連携し、患者紹介の窓口となり円滑な診療が出来るようにサポートする事です。医療機関だけではなく、地域包括支援センターや公民館、ライオンズクラブなども連携し、地域の人たちに勉強会、講演会等を通じて病気



に対する啓蒙活動を行い、三愛病院の理念でもある早期発見、早期治療を推進する活動も行っています
また、地域医療連



携室は SaPCVC(三愛パートナーズ心臓血管センター) 準備室も兼ねており、プロジェクトパートナーである HHPJ(Heart Hospital Partners Japan) から渉外担当として5月より酒井和華子さん(写真右)が勤務しています。酒井さんには SaPCVC の考え方を地域の医療機関に広める役割とともに、地域医療連携室の活動にも同時に協力してもらっています。

これからも、三愛病院が地域に根ざした、信頼される医療機関であり続けるように今後も努力していきたいと思います。

地域医療連携室 (外線直通) 048-866-1515
(内線) 130

※お気軽にお問い合わせください